

福州市友好都市提携 30 周年記念公式訪問団報告書（水産分野コース）

長崎市議会議員 五輪 清隆
 長崎市議会議員 緒方 富昭
 長崎市議会議員 小宮 慶一
 長崎市議会議員 佐藤 正洋
 長崎市議会議員 野口 達也
 長崎市議会議員 東 満敏
 長崎市議会議員 山口 博

◎訪問の目的

福州市との友好都市 30 周年を迎えることを記念して、親善訪問団 96 名（公式訪問団 38 名・市民訪問団 20 名・経済訪問団 38 名）を派遣し、これまでの交流の歴史を振り返るとともに、今後さらなる相互交流を再確認し合い、相互理解や国際親善を推進する。以下、その概要についてご報告いたします。

◎訪問期間 平成 22 年 8 月 23 日（月） ～ 8 月 27 日（金）（5 日間）

◎訪問都市 中国 ： 福州市、上海市

日 程

月 日 曜	時間	行 程	備 考
8 月 23 日(月)	11 時 40 分	公式訪問団集合	
	12 時 10 分	結団式	
	13 時 15 分	長崎空港発	
	13 時 50 分	上海浦東空港着	
	15 時 10 分	上海浦東空港発	
	16 時 40 分	福州空港着	
	18 時 30 分	公式訪問団福州市表敬 歓迎レセプション	
8 月 24 日(火)	8 時 30 分	記念植樹	
	9 時 00 分	水産交流研修	
	17 時 30 分	観光プロモーション	
	18 時 00 分	授与式	
	20 時 30 分	友好都市提携 30 周年記念祝賀会 温泉公園視察・クルーズ	

8月25日(水)	9時30分 19時45分 21時05分	三坊七巷視察 福州空港発 上海浦東空港着	
8月26日(木)	午前 午後	上海万博視察 市内視察	
8月27日(金)	9時55分 12時25分	上海浦東空港発 長崎空港着	

《福州市》

1 福州市の訪問の概要について

○福州市の概要

福州市は「榕城」と略称され、福建省の省都であり、五つの区、二つの市、六つの県を所管している。総面積は1.2平方キロ、定住人口は683万人で、その内、市内の面積は176.59平方キロで、人口は271万人である。

福州市は歴史が長く、景色が美しく、文化が盛んで、民間の風俗は素朴ですが、「福のあるところ」とも言われており、中国で初めて対外開放の港湾都市、国際歴史文化名城とも指定されている。

千年以上の歴史を持っている福州市は、改革・解放、特に近年以来、生氣と活力がみなぎっており、相次いで、「国家衛星都市」「国家庭園都市」「国家環境保全モデル都市」「中国優秀旅行都市」「全国文明都市づくり先進都市」などの称号を獲得している。なお、2006年以來相次いで国際的に権威ある機構に「世界の魅力都市トップ200」「中国製造業競争力トップ10」「中国の投資価値が最も高い都市」に選ばれている。

また、福州市は、中央政府の福建省海峡西岸計経済区建設促進を支援するという重大な歴史的チャンスをつかみ、さらに、飛躍的な経済発展を遂げようとしている。

○友好都市提携の経緯

ほとんどの長崎華僑の出身地であり、中日友好の船「明華号」の長崎訪問の折に

中日友好協会会長に要望書を提出し、歴史的なつながりをもとに締結。

- ・ 友好都市提携 昭和 55 年 10 月 20 日
- ・ 水産農林技術交流 昭和 56 年から継続
- ・ 水道技術交流 平成 3 年から継続
- ・ アマチュア無線交流 昭和 60 年から継続

(1) 福州市表敬

- ・ 日時 8 月 23 日 (月) 18 時 30 分～19 時
- ・ 場所 西湖大酒店 3 階御風庁
- ・ 訪問者 公式訪問団、経済訪問団団長、
- ・ 対応者 袁 栄祥 共産党福州市委員会書記
蘇 增添 福建省人民政府副省長兼福州市長ほか 15 名
- ・ 内容
 - ・ メンバー紹介
 - ・ 会 談

袁書記 長崎市は、経済発展、造船、水産加工、都市建設、管理などの分野ですばらしい。福州市はめざましく経済発展しているが、発展途上なので、滞在中にご指導いただきたい。

田上市長 今回は三つの団あわせて 96 名で訪問しているが、こんなに多く参加しているのは福州市に親近感をもっているからだと思う。これまでの 30 年間の友好の歴史を礎に発展させていきたいという思いで訪問している。

※ 引き続き 19 時より歓迎レセプションが行われた。



福州市表敬

(2) コース別研修（水産交流コース）

昭和 55 年の友好都市提携の翌年から継続している両市の水産交流の歴史・成果を踏まえ、水産種苗センターや加工処理場の視察を行い、特に、ハイブリッドアワビとコンブの養殖技術の取り組みについては、福州市当局からの説明を受け、意見交換等を通してさらなる交流の促進を図るためのもの。

- ・ 日時 8月24日（火） 9時00分～16時00分
- ・ 場所
 - ・ 連江県官塢海洋開発有限公司（昆布育種場）
 - ・ 福建捷豊海珍品開発有限公司（アワビ海上養殖施設）
- ・ 対応者 黄盛章連江県海洋与漁業局長ほか
- ・ 内容

① 連江県官塢海洋開発有限公司（昆布育種場）について

連江県官塢海洋開発有限公司では、コンブの育種、養殖及び加工などを行っており、昆布育種場においては、年間約 20 万枚のコンブ苗の育成が行われている。また、当該施設内の展示室では、コンブ加工品が展示されており、日本向けの商品も展示されている。連江県においては、福建省の約 65%にあたる年間約 11 万トンの生産量と約 5 億元（日本円で約 65 億円）の生産額がある。

なお、福建省は中国全省の約 80%のコンブを生産している。



コンブ加工品の展示室にて



室内育種水槽にて

- ② 福建捷豊海珍品開発有限公司（アワビ海上養殖施設）について
連江県同心湾海域においては、水深約10メートル前後の浅瀬に筏を浮かべ、籠を垂直に海中に沈める養殖方法により、アワビの養殖を行っている。また、赤潮からの被害防止策として、筏ごと移動させている。福州市におけるアワビの生産量は、年間約1.25万トンの生産量と約15億元（日本円で約195億円）の生産額がある。なお、当該施設では、約3,000人の雇用を生み出しており、地域の重要な産業となっている。



アワビ海上養殖施設にて

- ③ 海洋与漁業局技術センター及び水産技術交流座談会について
海洋与漁業局技術センターの実験施設と研究施設の視察を行い、その後、同センターにおいて座談会を開催し、両市の意見交換を行った。

座談会では、福州市におけるコンブとアワビの生産状況について説明があり、同市の水産業は、重要な基幹産業であるとのことであった。

意見交換会においては、同市におけるコンブの育成期間や磯焼けの実態についての質疑が交わされた。



海洋与漁業局技術センターにおける水産技術交流座談会のようす



海洋与漁業局技術センターの職員の皆さんと

(3) 授与式

福州市から田上富久長崎市長に「福州市榮譽市民証」の授与、「福州市の鍵」の贈呈、長崎市から蘇増添市長に「長崎市国際親善榮譽証」の授与。

また、長崎市と福州市の友好都市提携 30 周年を記念し、未来に向けた両市の友好協力関係及び両市民の理解と友情を一層深めるため、人的交流、経済、文化、観光、水産及び水道を中心とした分野における積極的な交流促進に努め、両市間友好関係の発展のために相互努力する旨の合意書を取り交わした。

- ・ 日時 8月24日(火) 17時30分～18時
- ・ 場所 シヤングリラホテル3階龍岩庁
- ・ 参加者 福州市 袁 榮祥 共産党福州市委員会書記
蘇 増添 福建省人民政府副省長兼福州市長
ほか約15名
長崎市 公式訪問団38名、経済訪問団団長、副団長
- ・ 内容
 - ① メンバー紹介
 - ② 長崎市長への「福州市榮譽市民」授与、「福州市の鍵」の贈呈
 - ③ 福州市長への「長崎市国際親善榮譽証」授与
 - ④ 福州市長あいさつ
 - ⑤ 長崎市長あいさつ
 - ⑥ 記念品交換
 - ⑦ 両市の友好都市交流促進合意書への署名



長崎市長への「福州市榮譽市民」授与



両市の友好都市交流促進合意書への署名

(4) 長崎市・福州市友好都市提携 30 周年記念祝賀会

- ・日時 8月24日(火) 18時10分～20時30分
- ・場所 シャングリラホテル3階龍岩庁
- ・参加者 福州市 袁 榮祥 共産党福州市委員会書記
蘇 増添 福建省人民政府副省長兼福州市長ほか
長崎市 親善訪問団 96名全員
- ・内容
 - ① 福州市長あいさつ
 - ② 長崎市長あいさつ
 - ③ アトラクション(楽器演奏、歌唱等)
 - ④ 福州市による歌の披露「北国の春」
 - ⑤ 長崎市による歌の披露「上を向いて歩こう」



祝賀会

(5) 温泉公園の視察・閩江ナイトクルーズ

- ・日時 8月24日(火) 20時30分～22時30分
- ・参加者 親善訪問団96名全員
- ・内容 ○温泉公園での市民イベントの視察及び参加
 - ・ステージで友好都市として紹介を受け、親睦を図るため、「北国の春」を福州市の市民の方々と一緒に歌った。○閩江ナイトクルーズ
 - ・親善訪問団全員が3隻に分かれ、乗船し、閩江ナイトクルーズを行った。

(6) 三坊七巷の視察

- ・日時 8月25日(水) 9時30分～12時00分
- ・場所 林則徐小学校会議室
- ・参加者 公式訪問団
- ・対応者 林 福州市三坊七巷有限公司総経理ほか
- ・内容

① 三坊七巷についての説明

○林福州市三坊七巷有限公司総経理の説明

三坊七巷の歴史は1700年あり、唐の末頃には現在の規模になっていた。また、三坊七巷と長崎はゆかりがあり、平戸生れの鄭成功の父母も住んでいた。

三坊七巷の修復は2008年からはじまり、まだ、全体の15%しか終わっておらず、建物の修復にはあと2年かかると思う。修復にこれまで投資した額は、70億円で、そのうち福州市政府が5億円だしており、国からの資金もある。修復を政府が重視しており、事業はうまくいっている。2009年、中国歴史文化名街トップ10に入った。

三坊七巷は、歴史文化を保護し、また、ビジネスにも役立てることが目標で、平日の訪問者は、1日2万人で、多い日には12万人が訪れる。

三坊七巷の場所には、もともと2万人が住んでいたが、周辺に建物を建てて、住民を移転させている。なお、立ち退きを望まなかった5千人については、昔ながらのありのままの生活を見せてもらえるよう、お互いが満足できるよう協力していきたいと考えている。



三坊七巷についての説明



三坊七巷についての説明

① 三坊七巷の現地視察

林総経理の説明により、カートに分乗し、「林則徐についての博物館」「石についての展示館」「庭園」「商店街」等を視察した。



カートに分乗して視察



三坊七巷の街並み



三坊七巷の街並み

《上海市》

1 上海万国博覧会について

○上海万国博覧会の概要について

上海万国博覧会は、今年5月1日から10月31日までの184日間の会期で開催されており、参加国については、史上最高の242の国・国際機関が出展。全体面積は、328ヘクタールと広大である。なお、入場者数も約7万人が見込まれている。

① 「浦西園區（企業館ゾーン）」

企業ゾーン出展パビリオンは、合計40館で、主な出展パビリオンは、日本産業館、コカコーラ館、上海企業連合館、中国鉄道館等である。

② 「浦東園區（企業館ゾーン）」

アジア各国のパビリオン群は、Aゾーンに中国国家館、日本館、インド館、サウジアラビア館、オーストラリア館等、合計17館がそれぞれ個性的な形状のパビリオンを構えている。

Cゾーンは、面積、国数が最大規模で、フランス館、スイス館、エジプト館、イギリス館、アメリカ館等、合計29にも及ぶパビリオンで構成されている。

(1) 上海万国博覧会の視察

- ・日時 8月26日（木） 午前
- ・参加者 親善訪問団 96名全員
- ・内容

- ① アジアゾーンを各自で視察
- ② 日本館（孫文と梅屋庄吉展の視察）
 - ・はじめに、孫文と梅屋庄吉に関するパネル展示について梅屋庄吉のひ孫である小坂文乃氏（日比谷松本楼常務）による説明を受け、その後、孫文と梅屋庄吉に関する映像を視聴した。



日本館



中国館



孫文と梅屋庄吉に関する映像の視聴

2 上海市内の視察

(1) 豫園の視察

豫園は、明時代に四川省の役人である潘允瑞が両親のために建設された庭園で、18年の歳月をかけて造られたもので、その面積は約2万㎡あり、その周囲には豫園商城と呼ばれる土産品等を販売する商店が数多くある。

- ・日時 8月26日(木) 午後
- ・参加者 親善訪問団96名全員